[広報ひろさき]

hirosaki

Contents

02 目次
東消防署防災教育室へ行ってみよう!!

特集
03 施政方針と予算

市政情報
11 ◆弘前市協働によるまちづくり基本条例
◆ひろさき多子家族応援パスポート
◆子育てスマイル(住まいる)アップ補助事業
◆弘前市市民活動保険　ほか

フォトコレ in ひろさき
17 鬼神社・しめ縄奉納裸参り
沢田ろうそくまつり

暮らしの information
18 イベント、教室など

Health Information
24 健康の掲示板
健康管理してますか？
狂犬病予防注射・犬の登録

学生企画コーナー
27 もっと②♥弘前!!

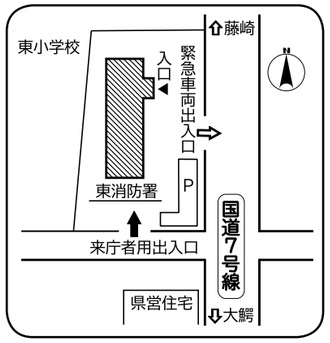
読者のひろば
28 smile 通信
弘前図書館近着図書紹介
食改さんおすすめレシピ
さらっと一句・川柳

東消防署 防災教育室へ行ってみよう!!

いざというときのために、私たちにできること「119 番通報」「初期消火」「応急手当」「自分の身を守る方法」などを実際に体験しながら学習してみませんか。子どもからお年寄りまで、わかりやすく楽しみながら防災知識を身に付けることができます。キッズコーナーもありますので、ぜひおいでください。

▽**開館時間**　午前９時～午後４時
▽**休館日**　毎週月曜日、年末年始（12 月 29 日～１月３日）
※月曜日が祝日の場合は開館します。
▽**ところ**　東消防署（城東中央５丁目）３階防災教育室
▽**内容**　地震体験、煙体験、消火体験、119 番通報体験、応急手当体験、消防士体験、ロープワーク学習、蒸気ポンプ・消防の資機材の展示など
▽**利用料**　無料
▽**申し込み方法**　申込書に必要事項を記入の上、利用希望日の２週間前までに、持参、郵送、ファクスまたはＥメールで提出してください。申込書はホームページからダウンロードできます。
■**問い合わせ・申込先**　東消防署（〒 036・8093、城東中央５丁目６の 11、☎ 27・1151、ファクス 27・8773、Ｅメール shouhigashi@city.hirosaki.lg.jp、ホームページ http://www.city.hirosaki.aomori.jp/shobojimu/）

弘前消防マスコットキャラクターの
ようじんちゃん（左）と消防犬火けしくん（右）



【今号の表紙 + １枚】
地域を守る！

４月１日、東消防署（城東中央５丁目）がリニューアル。災害などによる長時間の停電に対応するため、自家発電設備や蓄電池付きの太陽光発電システムを導入しているほか、防災教育室（上記参照）を設置。はしご車をはじめ消防車両９台などを配備し、地域を火災などから守るために備えています。
＋１枚は、はしご車の上からの東消防署。

特集

施政方針と予算

平成 27 年第１回市議会定例会の初日（２月 20 日）、葛西市長は施政方針演説を行い、新たな年度に向けた決意とともに、市が今後１年間目指していく方向を示しました。
今号では、この「施政方針」と、市議会定例会で議決された各会計予算や主な事業などを紹介します。

私は、「ひろさき一新」、「活力と誇りの持てる弘前に」を理念として、「子どもたちの笑顔あふれる弘前に」を目標に、市民の皆さんとともに築き上げていくことを自身の使命とし、これまでスピード感と発想力、そして決断力を持って市政の運営にまい進してきました。
特に、市民の皆さんとの対話を何度も重ね、その声を市政に反映し、市民の皆さんが形として実感されることに、私は意を用いてきました。
また、行財政改革についても、経済対策、子育て、健康づくり、雪対策など多くの政策を展開しつつ、財政の健全化にも意を用いて市政を進めてきました。
市では、国に対して地域活性化や少子化対策など、市独自の地方創生に対する思いを政策という形で提案するとともに、行政だけではなく、これまで以上に高まった市民力や地域力、知恵を結集した「オール弘前」体制による地域経営型の市政運営に取り組み、市民・行政が一体となって弘前からこの日本を元気にするという思いで推し進めていきます。
そして、子どもたちが元気に胸を張って夢を語り、「弘前に生まれて、住んでよかった」と思える環境づくりに、断固たる決意をもって果敢にチャレンジしていきます。
昨年策定した「弘前市経営計画」では、「人口減少」をいち早く最重要課題と捉え、各種の対策を戦略的かつ体系的に推進しています。
主なものとして、重点プロジェクトⅠ「産み・育てたいまち『ひろさき』」では、保育環境の充実のため「認定こども園等給付費」を、重点プロジェクトⅡ「いきいき・健やかなまち『ひろさき』」では、健康増進の環境整備のため「弘前市運動公園長寿命化改修（防災拠点化）事業」を、重点プロジェクトⅢ「冬も快適・住みたいまち『ひろさき』」では、転入促進のため「移住者受入推進事業」を行うとともに、約 100 年ぶりの本丸石垣普請による弘前城天守の曳屋（ひきや）にあわせて「弘前城天守映像化事業」を実施していきます。
また、４つの分野別政策として、まず「ひとづくり」の分野では、2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機に本市のスポーツ活動などの活性化を図る「東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致事業」を、地域活性化や経済波及効果を図るとともに子どもたちの夢を育む「プロ野球一軍戦誘致事業」を実施していきます。
「くらしづくり」の分野では、高齢者がいきいきと自立した生活ができる環境づくりを促進する「弘前自立支援介護推進事業」を実施していきます。
「まちづくり」の分野では、空き家・空き地対策として、新たな官民連携事業「空き家・空き地の利活用事業」を、中心市街地の拠点性向上などを図る「吉野町緑地周辺整備事業」を実施していきます。
「なりわいづくり」の分野では、農産物の輸出拡大を図る「りんご海外販売促進サポート事業」を、日本一の生産を誇るりんご産業のハイテク化などによる農業創生を図る「りんご産業イノベーション戦略策定事業」を実施していきます。
更に、岩木・相馬地区が有する豊富な地域資源を活用した魅力向上を図る「岩木山観光等の推進」を、来年２月に 10 周年となる市町村合併の効果の最大化を図る「元気いっぱい IWAKI・SOMA 活性化事業」を実施していきます。
そして、本年１月に設置した自治体内シンクタンク「ひろさき未来戦略研究センター」において、将来都市像の実現に向けた長期的な研究や人口減少対策の実践的な研究などを行い、弘前市経営計画の効率的・効果的な運営と推進を図っていきます。
常に市民の幸せと、「子どもたちの笑顔あふれるまち　弘前」の 20 年後の未来を願い、次代の子どもたちが夢を持てるような将来展望を市民の皆さんに示しながら、市政運営を行っていきますので、市民の皆さん並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

※「平成 27 年度施政方針及び予算大綱」要約・抜粋。